

組んでいます。

また、本校では、探究的な学びと協働的な取組をとおして、他者への思いやりの心を育むとともに、「探究力を磨き、地域社会に貢献できる人」を生徒の将来像として取り組んでいます。

令和8年度に創立50周年を迎える本校は、東京都教育委員会から「地域探究推進校」「海外学校間交流推進校」「安全教育推進校」の指定を受けており、これまで以上に、大学や企業、自治体や地域等と連携を深めながら教育活動を更に充実させていきます。

東京都立篠崎高等学校長 久保 静生

地域探究推進校としての足跡

～「篠崎モデル」の提案：探究批判の超克を目指して～

都立篠崎高等学校 探究部 唐仁原 友紀

0 篠崎の探究の特色

◎探究教材を自校作成

◎評価における外部人材の活用

「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性

0 篠崎の探究の特色

◎探究教材を自校作成

◎評価における外部人材の活用

「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性

0 篠崎の探究の特色

◎探究教材を自校作成

◎評価における外部人材の活用

「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性

目次

1 地域探究推進校としての取り組み

「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性

2 推進校としての現在地

「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性

3 「探究批判」の超克を目指して

「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性

4 まとめに代えて

「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性

「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性



Ⅰ 地域探究推進校としての取組み



「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性

探究学習の定義

- ・変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標にしていることから、これからの時代においてますます重要な役割を果たすもの

(文部科学省)

篠崎高校としての受け止め

著作権の都合上、非公開とします。

篠崎高校の目指す1つの探究の姿

明確な答えのない問いや
問題、課題について、失
敗を繰り返しながら、自
分なりの答えを見つけて
いく過程

地域探究推進校（R4～）

組織体制の強化

先進校視察

コンテンツの充実化

外部連携の強化

地域探究推進校（R4～）

組織体制の強化

先進校視察

コンテンツの充実化

外部連携の強化

組織整備：組織的な運用と生徒の変容に向けて

探究を「デザイン」



探究部

生徒を「ファシリテート」



担任
副担任

学習を「マネジメント」

成長を「アセスメント」



外部機関

連携先一覧

自治体 江戸川区役所

大学 明治大学、武蔵大学、獨協大学、
東京学芸大学、専修大学、日本大学、
文教大学、千葉商科大学

企業等 マイナビ、ベネッセ、StudyValley
ポポラマーマ、ACSL、Tokyo23FC

探究アドバイザーの活用 (TEPRO)



「探究」の運営と組織の関わり

- 1
 - ・総合的な探究の時間の日程・内容・資料・時程作成
 - ・総合探究推進委員会内で情報共有・意見交換（学期１回）

- 2
 - 【探究部】
 - 各分掌の要望、行事予定要望を踏まえた授業計画の調整

- 3
 - 【学年会】
 - 前月の課題・来月の計画説明・授業資料の共有

- 4
 - 【探究の時間】
 - クラス担任：活動の趣旨・ゴール説明・活動・個別指導

- 5
 - 【学年会議】
 - 学期末、学年末：担任・担当等のフィードバックから計画の修正

※過度な負担にならない「おおらかな運用」を目指し、学年、各分掌と相談をしながら進める

学年会の様子



地域探究推進校（R4～）

組織体制の強化

先進校視察

コンテンツの充実化

外部連携の強化

地域探究推進校（R4～）

組織体制の強化

先進校視察

コンテンツの充実化

外部連携の強化

地域探究推進校（R4～）

組織体制の強化

先進校視察

兵庫県立篠山鳳鳴高校、柏原高校など
コンテンツの充実化

外部連携の強化

地域探究推進校（R4～）

組織体制の強化

先進校視察

兵庫県立篠山鳳鳴高校、柏原高校など

コンテンツの充実化

外部連携の強化

地域探究推進校（R4～）

組織体制の強化

先進校視察

兵庫県立篠山鳳鳴高校、柏原高校など

コンテンツの充実化

外部連携の強化



2 推進校としての現在地



「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性

篠崎高校 探究コンセプト

探究 × 進路 × 地域社会

好きを★究めて、未来を★探る

好きを深めて、地域社会へ繋ぐ

探究 × 進路 × 地域社会

興味
関心

内

外

地域
課題

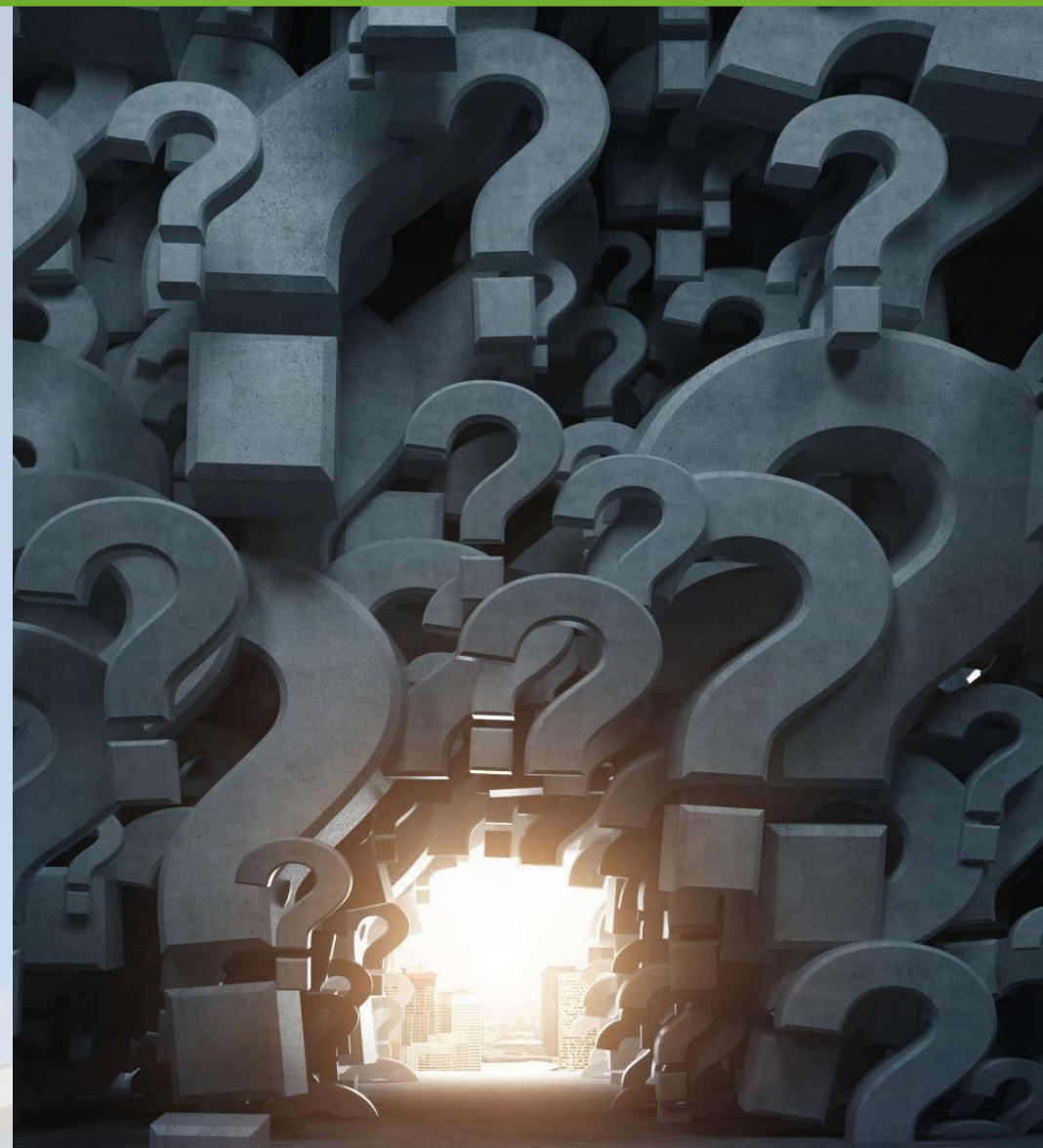
生徒側「篠崎探究」の時間

「地域」を追求

「好き」を追求

「協働」して追求

「未来」を切り開く探究



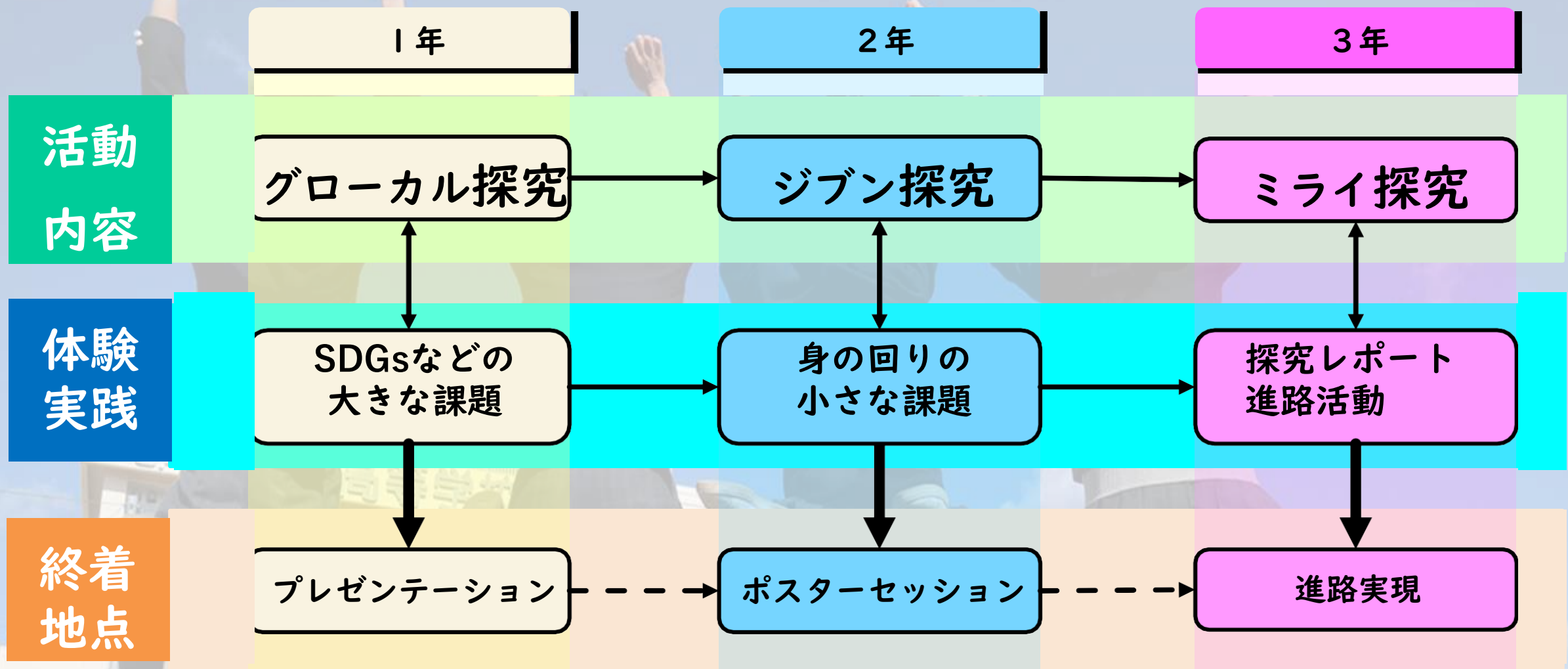
「篠崎探究」ワークデザインの三本柱

探究	地域研究
	個人研究
実践	プレゼンテーション
	ポスター・論文作成
能力	コミュニケーション能力
	論理的思考と表現力



アウトプット&アクション
できる「場」をデザイン

「篠崎探究」 3年間のステップアップ



1年生の学習過程

グローバル探究

「江戸川区の課題解決」

江戸川区役所と江戸川区内の行政的な課題を洗い出し、どのようにそれらの問題を解決できるか考え、政策提案を行う。



1年生の流れ

1 学期
SDG s 調査
問いづくり

2 学期
調査分析
地域理解

3 学期
発表

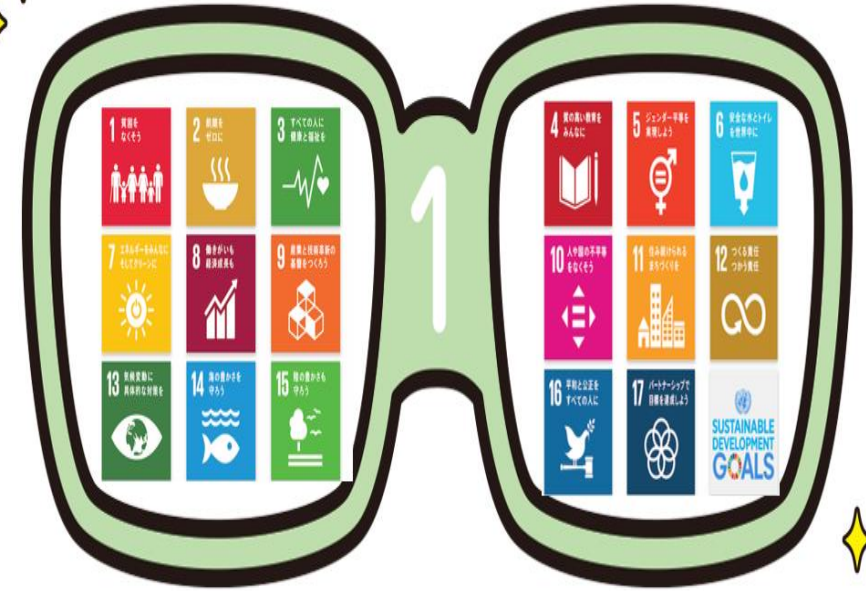
江戸川区職員

ゴール

地域課題、SDGsについて、探究の4つのプロセスを基に探究活動そのもののイメージをつかみながら、地域探究の基礎を身に付ける。

ツール

江戸川区役所



ともに、生きる。
江戸川区
EDOGAWA

1年生の学習内容



2年生の流れ

1 学期
ゼミ

2 学期
ゼミ

3 学期
発表

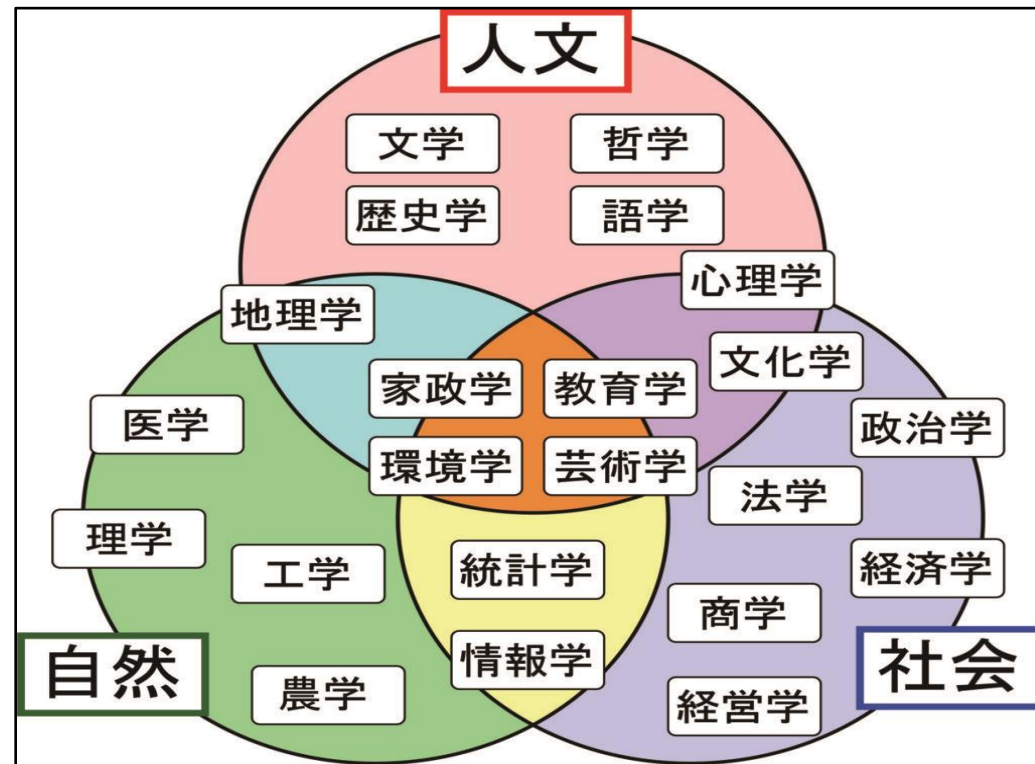
大学の先生

ゴール

興味関心と学問領域を繋げ、論理的思考を身に付ける。
キャリア意識を深め、将来の具体的な選択肢を増やす。

ツール

キャリアナビ (Benesse)



2024.2 学期配布 総合的な探究の時間 ワークシート「個人探究シート」

2年 組 番 氏名:

※授業の中で調べたことは、裏面に整理して記録すること！

1 【問題発見】 実施日 ()

【問1】 あなたの進みたい学問分野? () 学系統
→ その学問が目指す社会はどんな社会? (大学のHPなどを活用して調べてみる)

2 【原因究明】 実施日 ()

【問2】 【問1】で調べた理想状態に対して、現状としてどのようなギャップ (=理想が達成できていない、人々が抱くような状態) が作られている?
※例えば、自由で平等な理想状態に対して、貧困や苦しむ人が多い、というギャップがある、などなど……

3 【課題設定】 実施日 ()

【問3】 【問2】でまとめたようなギャップはなぜ生じるのか? その原因を調べてみる
※例えば、貧困の原因について調べると、低賃金労働や失業などが原因としてあげられる
→ この「原因の原因」が皆さんが探究で解決すべき「課題」となります! (これを目標)

4 【課題解決】 実施日 ()

【問4】 【問3】でまとめた原因-解決すべき課題をどのようにしたら解決できるか? 先行事例や最新の研究内容を調べ、自分なりの解決策、結論を「原因の原因を解決できる考える根拠」をもとに書き出そう!

2年生の学習内容

ジブン探究

「身の回りの課題解決」

進路先の学問領域から個人的な関心を発見し「どのように社会と関わっていくのか」の問いに向き合い、解決方法を提案する。



3年生の流れ

1 学期
小論文
志望理由

2 学期
進路活動

3 学期
進路実現

卒業

ゴール

身に付けた探究スキルを駆使し、進路活動を行う。
希望を胸に、高い意欲を持って社会へ飛び立つ。

ツール

キャリアナビ (Benesse)

小論文・志望理由書入門

0

完了

全10セット



【小論文】書き方

最終取り組み日 2023/05/20

4

完了

全10セット



【志望理由】書き方

最終取り組み日 2023/05/20

2

完了

全10セット



【志望理由】志望理由を深める

最終取り組み日 2023/05/20

6

完了

全10セット



【志望理由】論述練習

最終取り組み日 2023/05/20

7

完了

全10セット



【自己PR】書き方

最終取り組み日 2023/05/20

3

完了

全10セット



【自己PR】自己PRを深める

最終取り組み日 2023/05/20



自分の強み

自分のアピールポイント、強みを完結に述べましょう。好きなこと、得意なこと、性格や高校で頑張ったことなどから言えることを述べましょう。

入力してください

0字/500字



自分の強みを示すエピソード

強みが表れているエピソードや経験、出来事を説明しましょう。勉強や部活をはじめ高校で頑張ったことなどをもとに説明しましょう。

入力してください

0字/500字

3年生の学習内容

ミライ探究

「進路のマッチング」

自らの進路を探究し、自己理解と社会理解を深め、卒業も地域に参画する態度を身に付ける。

報告書タイトル		学籍番号	氏名	指導担当教員	氏名
1. 背景と目的	4. 検証の結果	コメントの追加 [唐仁原 友紀]: 自分が行った探究を、英訳可能な表現でタイトルをつける (～について、ではなく、～に関する解決策の検討、のように必ず考察や検討などの名詞で終わるように表現する) コメントの追加 [唐仁原 友紀]: 学籍番号は、学年＋クラス＋出席番号 (2桁表示) とする ※出席番号1桁の生徒は、0＋番号とする コメントの追加 [唐仁原 友紀]: 報告書中、1、2を要約して記入 コメントの追加 [唐仁原 友紀]: 3 (2) の結果に当たる部分を要約して記入			
2. 解決の見通し	5. 結論				
3. 検証の方法	6. 参考文献一覧	コメントの追加 [唐仁原 友紀]: 報告書中、3 (1) の内容を要約 コメントの追加 [唐仁原 友紀]: 探究全体を通しての結論と報告書中、4に該当する部分を要約して記入 コメントの追加 [唐仁原 友紀]: 報告書中、3 (2) の中で、検証をどのような方法で行ったのか、に該当する部分を要約して記入 コメントの追加 [唐仁原 友紀]: 報告書中、■参考文献一覧を記入			



3 「探究批判」の超克を目指して



「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性

学問領域からの指摘①

「頑張ってる」感だけ出ている
探究になる可能性の指摘

×（旧Twitter）より引用

本校としての対応①

21	anonymous	江戸川区というエリアの地形に則したテーマを選択したと思います。首都圏外郭放水路という実例から、江戸川区にもそれが役に立つのではないかというアイデアをもとに説明ができてよかったと思います。「有効と言える根拠」のページでグラフを使うのは効果的ですが、使用された回数だけで「十分効果がある」と主張するのは根拠が不足しているので、どれだけ災害が軽減したか、など「効果」に関するデータや理論を示せるともっといい発表になったと思います。
22	anonymous	まちづくりの重要な要素は、そこに住んでいる人々ですので、住民に焦点を当てたのはよかったと思います。一方で、探求の対象が、発表するにつれて「老人」、「若者」、「子育て（する夫婦？）」と移り変わっていったので、「誰を対象にした発表だろうか？」とわかりにくくなってしまいました。また、「老人」、「若者」という言葉も何歳以上の人、何歳以下の人など聞く人によってイメージが異なるので、発表の最初の段階で定義しておくことで誤解が少なくなり、探求学習の発表としてより良くなります。
23	anonymous	日常の気づきから放置自転車の問題を取り上げたということで、課題について、クラスの皆さんの共感を得られたのではないかと思います。ところで、最初の段階で放置自転車のデメリット（のページ）を説明しておくことで話の順序としてよりわかりやすくなったと思います。インターネットなどで調査をするときは、内容を理解してから、よりその内容が伝わる言葉で資料を作りましょう（例：「犯罪の温床」との関連）。また、解決策は「駐輪場を増やす」だけでなく、実際に駐輪場を作るスペースの案を写真などで示せば、解決策の実現可能性が高まります（逆にスペースもないのに「駐輪場を作ろう」と言っても現実的ではありません）。ぜひ皆さんで街をよくする方法を考えて、江戸川区に提案してみるといいですね。



Power Automate

ファイルなどを同期して作業を簡略化します。

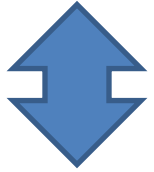
**Microsoft365のアプリケーション
(PowerAutomate)
を用いて大学教員からの
評価を自動集計
↓
Teamsによる共有と探
究部からのフィード
バック**

学問領域からの指摘②

単純化した考察が「情弱ビジネス」になる危険性を示した指摘

本校としての対応②

社会問題（課題）の「複雑」性



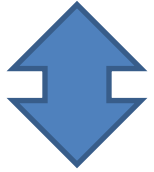
学校教育の「単純」性



「複雑」性の分析と「複雑」な解決策

本校としての対応②

社会問題（課題）の「複雑」性



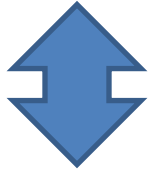
学校教育の「単純」性



「複雑」性の分析と「複雑」な解決策

本校としての対応②

社会問題（課題）の「複雑」性



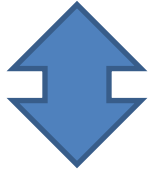
学校教育の「単純」性



「複雑」性の分析と「複雑」な解決策

本校としての対応②

社会問題（課題）の「複雑」性



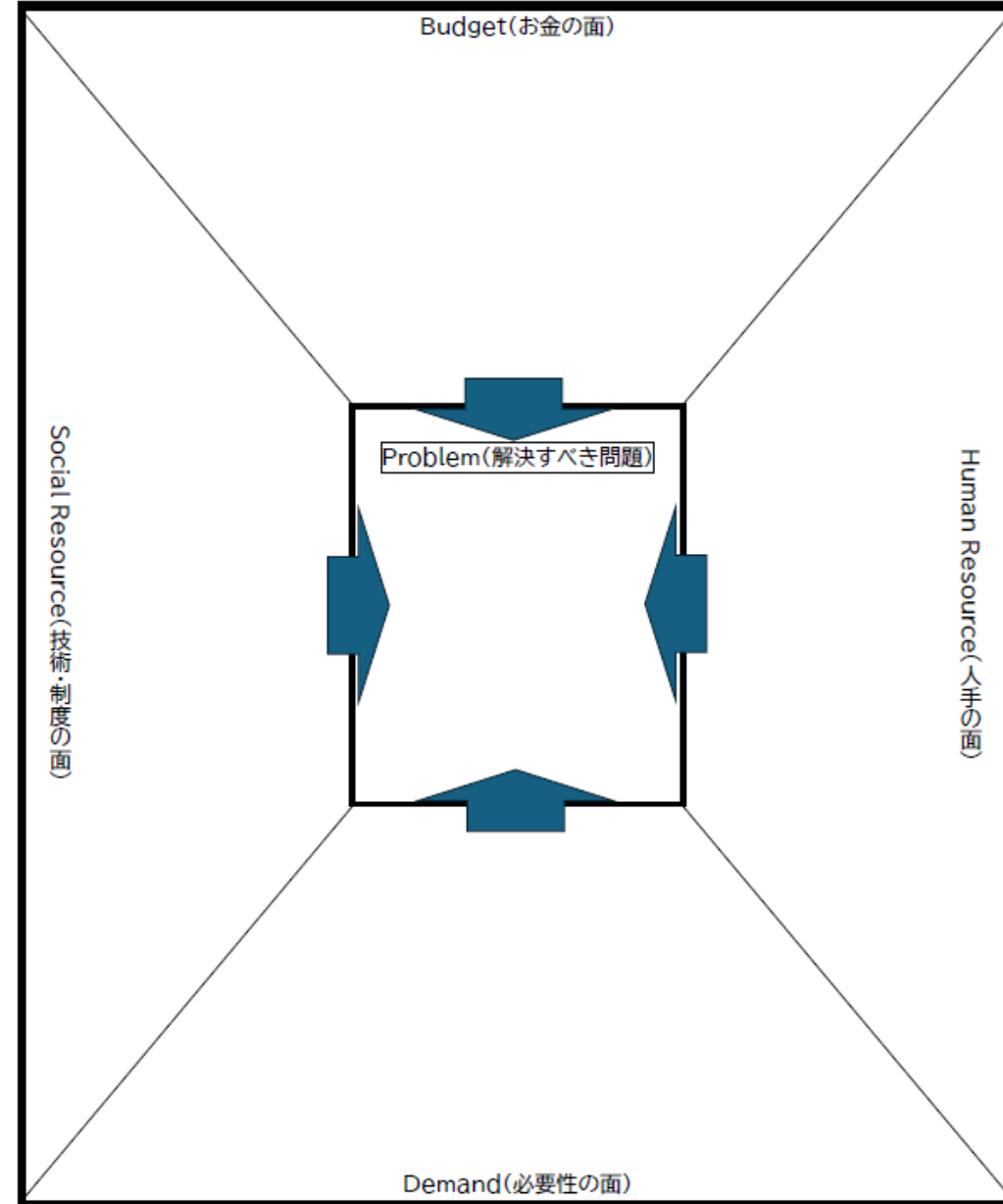
学校教育の「単純」性



「複雑性」の分析と「複雑」な解決策

【課題発見×原因究明シート】

中心に解決すべき問題を設定し、その周囲を取り囲む4つの視点から、その問題への社会的な対応や構成要素を整理して記述し、原因の分析を図る。



【評価基準】

設定した問題に対して、①解決できている国や自治体、企業と②解決できていない国や自治体、企業について各4要素の状況を調べ、設定した問題への取り組み状況を評価する。

	①解決できている国や自治体、企業	②解決できていない国や自治体、企業
お金の面の状況		
人手の面の状況		
技術・制度の面の状況		
必要性の面の状況		

↓

【原因分析】

左記【課題発見×原因究明シート】と上記【評価基準】から、原因となった設定した問題を取り巻く4要素について、原因となっていると思われる事柄とその強度(深刻度)について評価する。

要素	原因の有無	強度(深刻度)	その理由
お金の面	有・無	0 1 2 3 4 5	
人手の面	有・無	0 1 2 3 4 5	
技術・制度の面	有・無	0 1 2 3 4 5	
必要性の面	有・無	0 1 2 3 4 5	



4 まとめにかけて



「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性

おわりに～推進校としての役割～

課題として……

①内容の充実と持続可能な探究学習に向けて

②推進校としての「データベース」機能

おわりに～推進校としての役割～

課題として……

①内容の充実と持続可能な探究学習に向けて

②推進校としての「データベース」機能

おわりに～推進校としての役割～

課題として……

①内容の充実と持続可能な探究学習に向けて

②推進校としての「データベース」機能

おわりに～推進校としての役割～

課題として……

①内容の充実と持続可能な探究学習に向けて

②推進校としての「データベース」機能



← 1 学年教材



← 2 学年教材



← 3 学年教材



ご清聴ありがとうございました



「最高の自分を見つけるために」
伸ばします あなたの可能性